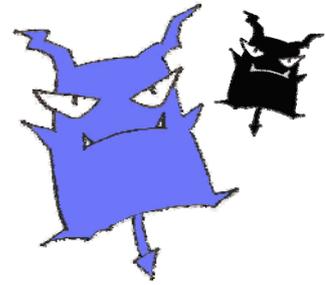


平成19年10月

京都市こどもの感染症

かんせんしょう



★☆ これから流行りそうなものは…

< 去年の今頃(10月)の順位 >

順位	病気の名前	特徴、予防法など
1位	かんせんせいいちょうえん 感染性胃腸炎	発熱、下痢、嘔吐などが症状。ノロウイルスが有名ですが、その他の色々なウイルスや細菌も原因となり、何回もかかってしまうことがあります。予防のため、手洗いや食品の十分な加熱などを心がけましょう。
2位	みず 水ぼうそう (水痘)	水痘ウイルスが原因で、全身に発しんができます。伝染力が強く、肺炎・脳炎・髄膜炎などの合併症を併発することもあります。 発病3日以内に抗ウイルス薬を服用することで、症状の軽減が期待できます。予防接種は任意(1歳以上で、1回接種)ですが、集団生活をする場合は、受けておかれることをおすすめします。かかりつけの医療機関にご相談ください。 なお、集団へ感染がひろがるのを防止するため、学校保健法による出席停止期間は、 <u>すべての発しんが、かさぶたになるまで</u> となっています。
3位	ぐん ようけつせい A群溶血性レンサ きゅうきんいんどうえん 球菌咽頭炎	のどの痛みと発熱で始まり、赤い発しんが全身に広がります。3~4日すると、舌が、いちごのように赤くなって、ぶつぶつになる、いちご舌とよばれる症状が特徴で、4~5歳での感染が多くなっています。 細菌によって起こる病気ですので、治療には主に抗菌薬(主にペニシリン系)を用います。症状が軽快しても、細菌が完全に体から消えたわけではありません。医師の指示に従って、お薬をきちんと飲むことが大切です。

★☆ 注意する感染症!

●●● 感染性胃腸炎



色々なウイルスや細菌が原因となる感染症で、例年10月頃から流行が始まり、冬季にピークとなります。

< 症状 > 下痢や嘔吐などのほか、せき、鼻水、発熱といったかぜ症状を伴うこともあります。

< 対処方法 > 下痢のときは、脱水症になりやすいので、水分補給をしっかりと行いましょう!

特に乳幼児は、注意が必要です。

< 主な予防策 > 生ものを避け、カキ(貝)などの他、食品全般において、十分に加熱をしましょう!

トイレのあとや調理前は、よく手を洗いましょう!

気になる症状があるときは、かかりつけの医療機関に相談しましょう!

★ 京都市の感染性胃腸炎の患者発生状況



★☆ 小学校入学準備に2回目の麻しん・風しんワクチンを

平成18年4月1日以降、麻しん・風しん混合生ワクチン(MRワクチン)の定期接種が開始となりました。

対象者は、**第1期**が1歳児、**第2期**が5~7歳未満で、小学校就学前の1年間の者です。

第2期で、まだ麻しんと風しんの予防接種をそれぞれ2回ずつ受けていないお子様がいらっしゃいましたら、かかりつけの医師と相談し、ぜひとも平成20年3月31日までに受けましょう!

